

(様式第 9)

旭医大第 1 2 0 9 号  
平成 2 1 年 1 0 月 2 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人旭川医科大学  
学 長 吉 田 晃

旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

|        |       |
|--------|-------|
| 研修医の人数 | 51.7人 |
|--------|-------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種     | 常 勤  | 非常勤  | 合 計    | 職 種       | 員 数 | 職 種         | 員 数 |
|---------|------|------|--------|-----------|-----|-------------|-----|
| 医 師     | 168人 | 154人 | 294.0人 | 看護業務補助    | 42人 | 診療エックス線技師   | 0人  |
| 歯 科 医 師 | 5人   | 6人   | 9.8人   | 理学療法士     | 3人  | 臨床検査技師      | 37人 |
| 薬 剤 師   | 18人  | 9人   | 27.0人  | 作業療法士     | 0人  | 衛生検査技師      | 0人  |
| 保 健 師   | 0人   | 0人   | 0.0人   | 視能訓練士     | 12人 | その他         | 0人  |
| 助 産 師   | 25人  | 0人   | 25.0人  | 義肢装具士     | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人  |
| 看 護 師   | 473人 | 66人  | 520.7人 | 臨床工学技士    | 9人  | 医療社会事業従事者   | 3人  |
| 准 看 護 師 | 0人   | 0人   | 0.0人   | 栄 養 士     | 0人  | その他の技術員     | 7人  |
| 歯科衛生士   | 0人   | 1人   | 1.0人   | 歯 科 技 工 士 | 2人  | 事 務 職 員     | 74人 |
| 管理栄養士   | 4人   | 1人   | 5.0人   | 診療放射線技師   | 26人 | そ の 他 の 職 員 | 31人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外    | 歯科等     | 合 計      |
|--------------|----------|---------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 485.6人   | 6.3人    | 491.9人   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,356.4人 | 40.4人   | 1,396.8人 |
| 1日当たり平均調剤数   |          | 1,153 剤 |          |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類  | 届出受理                                  | 取扱い患者数 |
|--|---------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)                                   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)                                | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)    | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)                         | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)         | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |

| 先進医療の種類  | 届出受理                                  | 取扱い患者数 |
|--|---------------------------------------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 神経芽腫のRNA診断   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |

| 先進医療の種類   | 届出受理                                  | 取扱い患者数 |
|---|---------------------------------------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)                     | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)  | <input checked="" type="radio"/> 有・無  | 5人     |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るもの)に限る。)   | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人      |

| 先進医療の種類  | 届出受理                                 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)  | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人     |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって原発性のものを除く。))に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |

| 先進医療の種類  | 届出受理                                 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)                                      | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索   | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 12人    |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)  | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)   | 有・ <input type="radio"/> 無           | 人      |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名               | 取扱い患者数 | 疾患名                       | 取扱い患者数 |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病          | 61人    | ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)        | 3人     |
| ・多発性硬化症           | 24人    | ・ウェゲナー肉芽腫症                | 13人    |
| ・重症筋無力症           | 20人    | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症          | 145人   |
| ・全身性エリテマトーデス      | 203人   | ・多系統萎縮症                   | 10人    |
| ・スモン              | 0人     | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)       | 3人     |
| ・再生不良性貧血          | 9人     | ・膿疱性乾癬                    | 6人     |
| ・サルコイドーシス         | 67人    | ・広範脊柱管狭窄症                 | 1人     |
| ・筋萎縮性側索硬化症        | 5人     | ・原発性胆汁性肝硬変                | 37人    |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 119人   | ・重症急性膵炎                   | 5人     |
| ・特発性血小板減少性紫斑病     | 33人    | ・特発性大腿骨頭壊死症               | 36人    |
| ・結節性動脈周囲炎         | 33人    | ・混合性結合組織病                 | 17人    |
| ・潰瘍性大腸炎           | 190人   | ・原発性免疫不全症候群               | 4人     |
| ・大動脈炎症候群          | 12人    | ・特発性間質性肺炎                 | 6人     |
| ・ビュルガー病           | 54人    | ・網膜色素変性症                  | 25人    |
| ・天疱瘡              | 13人    | ・プリオン病                    | 0人     |
| ・脊髄小脳変性症          | 32人    | ・原発性肺高血圧症                 | 5人     |
| ・クローン病            | 137人   | ・神経線維腫症                   | 9人     |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎    | 1人     | ・亜急性硬化性全脳炎                | 0人     |
| ・悪性関節リウマチ         | 9人     | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 0人     |
| ・パーキンソン病関連疾患      | 59人    | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)        | 2人     |
| ・アミロイドーシス         | 6人     | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 4人     |
| ・後縦靭帯骨化症          | 42人    | ・副腎白質ジストロフィー              | 0人     |
| ・ハンチントン病          | 0人     |                           |        |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

|                                     |  |      |            |
|-------------------------------------|--|------|------------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |      |            |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 24   |      |            |
| 剖検の状況                               | 剖検症例数  | 36 例 | 剖検率 12.9 % |

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

| 通番 | 研究課題名   | 研究者氏名  | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託元 | 補助元又は委託元名                 | 備考 |
|----|---|--------|------|--------|----------|---------------------------|----|
| 1  | リンパ浮腫次世代治療法—リンパ管新生遺伝子治療と外科治療のハイブリッド治療法  | 笹嶋 唯博  | 副学長  | 4,680  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 2  | ゆるむ事のない人工関節開発へのブルークスルー  | 松野 丈夫  | 副学長  | 4,000  | 委        | 文部科学省研究振興局                |    |
| 3  | 北海道臨床開発機構の組織的・機能的充実等  | 吉田 晃敏  | 学長   | 16,793 | 委        | 文部科学省研究振興局                |    |
| 4  | 腎不全病態における血管内皮前駆細胞の役割解明と高機能内皮前駆細胞導入の効果   | 中川 直樹  | 第一内科 | 2,210  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 5  | プロスタノイドの血管病変形成における役割—骨髄細胞分化に及ぼす影響—  | 川辺 淳一  | 第一内科 | 520    | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 6  | 筋萎縮性側索硬化症の治療に関する基礎的研究   | 相澤 仁志  | 第一内科 | 1,040  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 7  | 骨髄由来血管内皮前駆細胞の制御によるがん治療の検討   | 大崎 能伸  | 第一内科 | 3,770  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 8  | 内皮前駆細胞(EPC)の機能制御に関する機序解明と、その臨床応用にむけての基礎研究   | 川辺 淳一  | 第一内科 | 1,000  | 補        | 財団法人 寿原記念財団               |    |
| 9  | ARB単剤療法効果不十分な高齢者高血圧症例に対するARB/利尿薬合剤とARB/Ca拮抗薬併用による積極的併用治療の血圧、認知機能への影響に関する無作為比較試験                                 | 長谷部 直幸 | 第一内科 | 140    | 補        | 財団法人日本ワックスマン財団            |    |
| 10 | 慢性腎臓病患者における血管内皮前駆細胞の機能解析  | 中川 直樹  | 第一内科 | 750    | 補        | 財団法人北海道心臓協会               |    |
| 11 | 血管新生病の病態解明と新規治療法開発  | 岡本 健作  | 第二内科 | 2,080  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 12 | I $\kappa$ B $\beta$ 2を標的とした関節リウマチ滑膜炎の治療戦略に関する研究  | 平野 史倫  | 第二内科 | 1,040  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 13 | 低酸素応答装置による免疫細胞機能調節機構の解明と新規抗炎症療法の開発  | 牧野 雄一  | 第二内科 | 1,950  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 14 | 小腸インクレチン細胞における転写および分泌調節機構の解明  | 藤田 征弘  | 第二内科 | 1,742  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 15 | 糖尿病性腎症における低酸素応答性転写因子の役割の解明と新規治療法開発への応用  | 牧野 雄一  | 第二内科 | 1,000  | 補        | 財団法人医科学応用研究財団             |    |
| 16 | 微生物認識機構・エフェクター分子産生の制御による炎症性腸疾患治療法の開発  | 高後 裕   | 第三内科 | 2,860  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 17 | ソノレーション現象を応用した新たな肝癌治療の開発  | 鈴木 康秋  | 第三内科 | 1,040  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 18 | 炎症非惹起型プロディフェンシンの構造作用特性に注目した炎症性腸疾患の治療  | 田邊 裕貴  | 第三内科 | 1,430  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 19 | 炎症性腸疾患における小胞体分子シャペロン異常の解明   | 伊藤 貴博  | 第三内科 | 3,250  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 20 | OCTNで取り込まれる新規細菌活性物質の腸上皮細胞内動態とMDR1による排出障害  | 藤谷 幹浩  | 第三内科 | 1,300  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 21 | 腫瘍—腫瘍血管を標的とした熱ショック蛋白・樹状細胞治療による白血病免疫回避の克服  | 佐藤 一也  | 第三内科 | 2,080  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 22 | 慢性肝障害と鉄代謝調節異常の病態オーバーラップの分子メカニズム解析   | 大竹 孝明  | 第三内科 | 1,170  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 23 | バレット食道とヘリコバクター・ピロリ菌   | 盛一 健太郎 | 第三内科 | 300    | 補        | 財団法人伊藤医薬学術交流財団            |    |
| 24 | 消化管機能評価による機能性食素材の開発   | 高後 裕   | 第三内科 | 8,000  | 委        | 財団法人北海道科学技術総合振興センター       |    |
| 25 | 初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT-11単剤療法 vs TS-1+CPT-11併用化学療法—の無作為比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験—(臨床試験実施計画書No. JACCRO GC-05) | 高後 裕   | 第三内科 | 0      | 委        | 特定非営利活動法人<br>日本がん臨床試験推進機構 |    |
| 26 | 腸内細菌由来の活性物質を用いた新規消化器癌治療薬の開発と臨床応用  | 藤谷 幹浩  | 第三内科 | 5,000  | 委        | 独立行政法人科学技術振興機構            |    |
| 27 | 副腎・生殖腺の異常によって発症する性分化異常症の新たな成因の探求  | 藤枝 憲二  | 小児科  | 14,900 | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 28 | 性分化異常症の網羅的な病因・病態の解明   | 藤枝 憲二  | 小児科  | 3,900  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 29 | 副腎ホルモン産生異常に関する調査研究  | 藤枝 憲二  | 小児科  | 19,000 | 補        | 厚生労働科学研究費補助金              |    |
| 30 | 全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基礎策定                               | 藤枝 憲二  | 小児科  | 26,320 | 補        | 厚生労働科学研究費補助金              |    |
| 31 | 【委託事業研究課題】 成長・成熟障害の遺伝子医療全校ネットワークシステムの構築【分担研究課題】 小児内分泌疾患における遺伝子医療基盤の整備   | 藤枝 憲二  | 小児科  | 1,500  | 委        | 国立成育医療センター                |    |
| 32 | 選択的骨髄細胞移植の効果に関する基礎的検討   | 稲垣 光裕  | 第二外科 | 2,080  | 補        | 科学研究費補助金                  |    |
| 33 | 「StageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験  | 河野 透   | 第二外科 | 735    | 委        | 財団法人先端医療振興財団              | 継続 |

小計33件



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

| 通番 | 研究課題名   | 研究者氏名 | 所属部門     | 金額(千円) | 種別 | 補助元又は委託元名                 | 備考 |
|----|---|-------|----------|--------|----|---------------------------|----|
| 34 | 「Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフツ化ビリジジン感受性群の選択に関する研究」                        | 河野 透  | 第二外科     | 263    | 委  | 財団法人先端医療振興財団              | 継続 |
| 35 | 肺癌切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法とS-1療法の第3相比較試験(JASPAC01)  | 葛西 眞一 | 第二外科     | 210    | 委  | 財団法人しずおか産業創造機構            | 継続 |
| 36 | 初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT-11単独療法vsTS-1+CPT-11併用化学療法—の無作為比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験—          | 星 智和  | 第二外科     | 0      | 委  | 特定非営利活動法人<br>日本がん臨床試験推進機構 |    |
| 37 | Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究 | 河野 透  | 第二外科     | 473    | 委  | 財団法人先端医療振興財団              |    |
| 38 | 腰部脊柱管狭窄症の病態と治療に関する神経機序の解明   | 熱田 裕司 | 整形外科     | 650    | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 39 | 角化異常症の病態解明  | 山本 明美 | 皮膚科      | 1,040  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 40 | 過活動膀胱における膀胱知覚異常および尿路上皮の機能異常の網羅的解析   | 柿崎 秀宏 | 泌尿器科     | 1,690  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 41 | 眼循環のトランスレーショナルリサーチによる糖尿病網膜症の新しい治療法の開発   | 長岡 泰司 | 眼科       | 2,990  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 42 | 2型糖尿病患者の網膜循環動態とメタボリックシンドロームとの関連—アディポネクチンの網膜循環に与える影響—  | 長岡 泰司 | 眼科       | 2,000  | 補  | 財団法人上原生命科学財団              |    |
| 43 | 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス膜蛋白の発現機構と機能解析   | 高原 幹  | 耳鼻咽喉科    | 2,080  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 44 | 嚥下機能における外側毛帯核の役割とその神経回路の解析  | 太田 亮  | 耳鼻咽喉科    | 1,040  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 45 | 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス標的療法に向けた基礎的研究   | 原 保明  | 耳鼻咽喉科    | 5,200  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 46 | 機能的電気刺激の内咽頭筋再支配に対する影響   | 片田 彰博 | 耳鼻咽喉科    | 1,690  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 47 | 扁桃病巣疾患の病態解明と扁桃摘出術の有効性の予測法の開発  | 坂東 伸幸 | 耳鼻咽喉科    | 2,990  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 48 | ヒト無精子症原因遺伝子の同定および精子形成過程におけるメカニズムの解析   | 宮本 敏伸 | 産科婦人科    | 1,300  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 49 | 婦人科癌浸潤移行現象におけるホメオボックス遺伝子メチル化制御機構の解析   | 山下 剛  | 産科婦人科    | 1,690  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 50 | ヒト無精子症関連遺伝子の網羅的解析   | 千石 一雄 | 産科婦人科    | 2,860  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 51 | ヒト無精子症原因遺伝子群の同定および新たな無精子症原因遺伝子診断法の開発  | 宮本 敏伸 | 産科婦人科    | 2,000  | 補  | 財団法人武田科学振興財団              |    |
| 52 | 不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究  | 千石 一雄 | 産科婦人科    | 803    | 委  | 北海道(厚生労働省)                |    |
| 53 | Tc-99m MIBI心筋SPECTにおけるwashout及び動態解析   | 沖崎 貴琢 | 放射線科     | 780    | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 54 | 妊娠に伴う内因性鎮痛機序の中核および脊髄における薬理学的、電気生理学的検討   | 岩崎 寛  | 麻酔科蘇生科   | 1,040  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 55 | 認知症診断バイオマーカー探索  | 河端 薫雄 | 臨床検査・輸血部 | 3,000  | 委  | 財団法人北海道科学技術総合振興センター       |    |
| 56 | 肺高血圧の進行度とボセンタンによる肺血管リモデリング抑制作用の他覚的評価法の開発  | 杉本 昌也 | 集中治療部    | 1,300  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 57 | 骨髄異形成症候群のミトコンドリア内鉄沈着に関与する鉄トランスポーター分子の同定   | 鳥本 悦宏 | 腫瘍センター   | 2,080  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 58 | 胎児グルココルチコイド暴露が胎児発育と新生児期に及ぼす影響に関する研究   | 長屋 建  | 周産母子センター | 1,560  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 59 | ユビキチン・プロテアソーム系を介したインスリン受容体基質調節機構の解明   | 高橋 伸彦 | 総合診療部    | 1,950  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 60 | 肺癌におけるPPARを介したVEGF発現調節機構の解析と治療への応用  | 丹野 幸恵 | 総合診療部    | 2,470  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 61 | ストレスキナーゼp38MAPKを介した抗癌剤耐性機構の解析と癌治療への応用   | 丹野 誠志 | 総合診療部    | 1,820  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 62 | 中枢性迷走神経刺激による肝臓で発現する遺伝子発現変化の網羅的解析  | 奥村 利勝 | 総合診療部    | 2,100  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 63 | 肝脂肪過剰蓄積を中枢へ伝達する迷走神経求心路刺激調節機構の解明と治療への応用  | 大平 賀子 | 総合診療部    | 1,900  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |
| 64 | 非小細胞肺癌Stage III B/IV期に対するCDDP+TS-1療法とCDDP+Docetaxel療法を比較する第Ⅲ相ランダム化比較試験                      | 大崎 能伸 | 呼吸器センター  | 0      | 委  | 特定非営利活動法人<br>東京がん化学療法研究会  | 継続 |
| 65 | エイズ診療向上に関する調査研究   | 大崎 能伸 | 呼吸器センター  | 4,096  | 委  | 北海道(厚生労働省)                |    |
| 66 | 吸入麻酔薬が心リズムとイオンチャネルに及ぼす影響に関する基礎的研究   | 鈴木 昭広 | 救急部      | 1,950  | 補  | 科学研究費補助金                  |    |

小計33件  
合計66件

## 2. 論文発表等の実績

|    | 雑誌名                                | 発表年月    | 題名   | 発表者氏名  | 所属部門 |
|----|------------------------------------|---------|--|--------|------|
| 1  | Int J Oncol                        | 2008.9  | Administration of VEGF receptor tyrosine kinase inhibitor increases VEGF production causing angiogenesis in human small-cell lung cancer xenografts.                   | 佐々木 高明 | 第一内科 |
| 2  | Soc Sci Med                        | 2008.9  | Relationship of socioeconomic status to C-reactive protein and arterial stiffness in urban Japanese civil servants.  | 西條 泰明  | 第一内科 |
| 3  | Am J Physiol Cell Physiol          | 2008.8  | MURC, a muscle-restricted coiled-coil protein, is involved in the regulation of skeletal myogenesis.   | 竹原 有史  | 第一内科 |
| 4  | Respiration                        | 2008.6  | Resistin is closely related to systemic inflammation in obstructive sleep apnea  | 山本 泰司  | 第一内科 |
| 5  | Int J Antimicrob Agents            | 2008.11 | Recovery of susceptibility to penicillin G in clinical isolates of Streptococcus pneumoniae despite increased accumulation of pbp gene alterations.                    | 大崎 能伸  | 第一内科 |
| 6  | J Appl Physiol                     | 2008.8  | Aging Increases Upper Airway Collapsibility in Fischer 344 Rats.   | 小笠 寿之  | 第一内科 |
| 7  | J Am Coll Cardiol                  | 2008.12 | Controlled Delivery of Basic Fibroblast Growth Factor Promotes Human Cardiosphere-Derived Cell Engraftment to Enhance Cardiac Repair for Chronic Myocardial Infarction | 竹原 有史  | 第一内科 |
| 8  | J Cell Mol Med                     | 2008.12 | Stemming heart failure with cardiac-or reprogrammed-stem cells   | 竹原 有史  | 第一内科 |
| 9  | Therapeutic Apheresis and Dialysis | 2008.12 | Prognostic study of cardiac events in Japanese high risk hemodialysis patients using I-BMIPP-SPECT: B-SAFE study design.T  | 長谷部 直幸 | 第一内科 |
| 10 | Hypertension Research              | 2008.4  | Microalbuminuria reduction with telmisartan in normotensive and hypertensive Japanese patients with type 2 diabetes: a post-hoc analysis of The Incipient to Overt     | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 11 | Hypertension Research              | 2008.6  | Impact of Renin-Angiotensin System Inhibition on Microalbuminuria in Type2 Diabetes : A Post Hoc Analysis of the Shiga Microalbuminuria Reduction Trial (SMART).       | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 12 | Am J Physiol Endocrinol Metab      | 2008.9  | Pax6 and Pdx1 are required for production of glucose-dependent insulinotropic polypeptide in proglucagon-expressing L cells.   | 藤田 征弘  | 第二内科 |
| 13 | Biochem Biophys Res Commun         | 2009.2  | Exendin-4 has an anti-hypertensive effect in salt-sensitive mice model.  | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 14 | Am J Physiol Renal Physiol         | 2009.1  | Structural and functional changes in the kidneys of high-fat diet-induced obese mice.  | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 15 | Nephrol Dial Transplant            | 2009.2  | Which hypoglycemic agents to use in type 2 diabetic subjects with CKD and how?   | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 16 | Diabetes Res Clin Pract            | 2009.2  | Serum indoxyl sulfate levels in patients with diabetic nephropathy: Relation to renal function.  | 羽田 勝計  | 第二内科 |
| 17 | Diabetes Res Clin Pract            | 2009.2  | Upregulated IL-18 expression in type 2 diabetic subjects with nephropathy: TGF- $\beta$ 1 enhanced IL-18 expression in human renal proximal tubular epithelial cells.  | 滝山 由美  | 第二内科 |
| 18 | Am J Physiol Endocrinol Metab      | 2008    | Incretin release from gut is acutely enhanced by sugar but not by sweeteners in vivo.  | 藤田 征弘  | 第二内科 |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|    | 雑誌名                          | 発表年月    | 題名  | 発表者氏名       | 所属部門     |
|----|------------------------------|---------|---|-------------|----------|
| 19 | J Gastroenterol Hepatol.     | 2008    | Endoscopic ultrasound-guided ethanol injection in the pancreas in a porcine model: A preliminary study.   | 松本 学也       | 第二内科     |
| 20 | Am J Clin Pathol             | 2008.4  | Clinicopathological implications in genetic instability in intestinal type gastric cancer and intestinal metaplasia as a precancerous lesion: Proof of field cancerization in the stomach.              | Zaky Amen   | 第三内科     |
| 21 | Gastrointest Endosc.         | 2008.5  | Transnasal ultrathin endoscopy for placement of a long intestinal tube in patients with intestinal obstruction.   | 佐藤 龍        | 第三内科     |
| 22 | Cancer Genet Cytogenet.      | 2008.5  | A novel five-way chromosomal translocation observed in chronic myelogenous leukemia.  | 生田克哉        | 第三内科     |
| 23 | Cancer Sci.                  | 2008.5  | Sonic hedgehog derived from human pancreatic cancer cells augments angiogenic function of endothelial progenitor cells.   | 山崎まどか       | 第三内科     |
| 24 | Cancer Sci.                  | 2008.7  | Induction of leukemia-specific antibodies by immunotherapy with leukemia-cell-derived heat shock protein 70.  | 神保絢子        | 第三内科     |
| 25 | Int J Hematol.               | 2008.7  | Body iron metabolism and pathophysiology of iron overload.  | 高後 裕        | 第三内科     |
| 26 | Helicobacter                 | 2008.10 | Functional Role of Metaplastic Paneth Cell Defensins in Helicobacter pylori-Infected Stomach.   | 田邊 裕貴       | 第三内科     |
| 27 | Int J Cancer                 | 2009.3  | Effects of Helicobacter pylori infection on genetic instability, the aberrant CpG island methylation status and the cellular phenotype in Barrett's esophagus in a Japanese population.                 | 盛一健太郎       | 第三内科     |
| 28 | Mol Genet Metab              | 2008.7  | Early and presymptomatic detection of Wilson's disease at the mandatory 3-year-old medical health care examination in Hokkaido prefecture with the use of a novel automated urinary ceruloplasmin assay | Fujieda K   | 小児科      |
| 29 | Endocr J                     | 2008.7  | Case study of a 15-year-old boy of McCune-Albright syndrome combined with pituitary gigantism: Effect of octreotide-long acting release (LAR) and cabergoline therapy                                   | Fujieda K   | 小児科      |
| 30 | Jpn J Clin Oncol             | 2008.7  | Low-dose Craniospinal Irradiation and Ifosfamide, Cisplatin and Etoposide for Non-metastatic Embryonal Tumors in the Central Nervous System   | Fujieda K   | 小児科      |
| 31 | Epilepsy Res                 | 2008.7  | Molecular analysis and anticonvulsant therapy in two patients with glucose transporter 1 deficiency syndrome: A successful use of zonisamide for controlling the seizures                               | Takahashi S | 小児科      |
| 32 | Antimicrob. Agents Chemother | 2008.7  | Establishment of a Cell-Based Assay for Screening of Compounds Inhibiting Very Early Events in Cytomegalovirus Replication Cycle and Characterization of a Compound Identified Using the Assay          | Koyano S    | 小児科      |
| 33 | Pediatr Infect Dis J         | 2008.7  | Molecular analysis and anticonvulsant therapy in two patients with glucose transporter 1 deficiency syndrome: A successful use of zonisamide for controlling the seizures                               | Takahashi S | 小児科      |
| 34 | Biochem Biophys Res Commun   | 2009.1  | Transforming growth factor- $\beta$ 1 induces matrix metalloproteinase-9 expression in human meningeal cells via ERK and Smad pathways  | Okamoto T   | 周産母子センター |
| 35 | Clin Infect Dis              | 2009.3  | Dried Umbilical Cords in the Retrospective Diagnosis of Congenital Cytomegalovirus Infection as a Cause of Developmental Delays   | Koyano S    | 小児科      |
| 36 | 日本成長学会雑誌                     | 2008.10 | ターナー症候群におけるエストロゲン補充療法開始時における思春期の伸びの予測法のretrospectiveな評価   | 藤枝憲二        | 小児科      |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|    | 雑誌名   | 発表年月    | 題名  | 発表者氏名              | 所属部門     |
|----|---|---------|---|--------------------|----------|
| 37 | 日本成長学会雑誌  | 2008.4  | 年齢別およびSGA児とAGA児における成長ホルモン治療の1年目の効果の比較   | 藤枝憲二               | 小児科      |
| 38 | 脳と発達  | 2008.9  | 北海道旭川市における3歳児健診時の睡眠週間に関するアンケート調査  | 荒木章子               | 小児科      |
| 39 | 日本周産期・新生児医学会雑誌                                    | 2008.8  | 多血症に対する部分交換輸血療法の再評価～生理食塩水と5%アルブミンの比較～   | 中村英記               | 周産母子センター |
| 40 | Ann Thorac Surg                                   | 2008.6  | Vacuum-Assisted Closure for Pediatric Post-Serotomy Mediastinitis: Are Low Negative Pressures Sufficient?   | 角浜孝行               | 第一外科     |
| 41 | Interac Cardiovasc Thorac Surg                    | 2008.7  | Perforation of the ascending aorta with a hematoma extending into the left-side upper extrapleural cavity   | 角浜孝行               | 第一外科     |
| 42 | J Surg Res.                                       | 2008.8  | Colonic Vascular Conductance Increased by Daikenchuto via Calcitonin Gene-Related Peptide and Receptor-Activity Modifying Protein 1.  | Toru Kono          | 第二外科     |
| 43 | Eur J Pharmacol.                                  | 2008.5  | Role of alpha2-adrenoceptors in enhancement of antinociceptive effect in diabetic mice.   | Toru Kono          | 第二外科     |
| 44 | Mol. Biotechnol.                                  | 2008.6  | Naked Plasmid DNA-Based $\alpha$ -Galactosidase A Gene Transfer Partially Reduces Systemic Accumulation of Globotriaosylceramide in Fabry Mice Gen Nakamura1                              | Toru Kono          | 第二外科     |
| 45 | Surg Today  | 2008.7  | Effectiveness of leukocytapheresis in suppressing the occurrence of surgical site infections following surgery for ulcerative colitis.  | Toru Kono          | 第二外科     |
| 46 | PANCREAS  | 2008.7  | Autoimmune pancreatitis diagnosed preoperatively with pancreatic ductal cancer: A case report   | Inagaki, Mitsuhiro | 第二外科     |
| 47 | JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH                   | 2008.12 | NFAT2 Is an Essential Mediator of Orthopedic Particle-Induced Osteoclastogenesis  | Yamanaka Y,        | 整形外科     |
| 48 | CLINICAL DRUG INVESTIGATION                       | 2008    | Effects of bisphosphonates on fracture incidence and bone metabolism in rheumatoid arthritis patients in general practice taking long-term corticosteroid therapy - A retrospective study | Katayama K         | 整形外科     |
| 49 | J Orthop Res                                      | 2008.11 | Association between dislocation, impingement, and articular geometry in retrieved acetabular polyethylene cups.   | Tanino H           | 整形外科     |
| 50 | Cancer Immunol Immunother                         | 2008    | Focal adhesion Kinase as an immunotherapeutic target.   | Iizuka H           | 皮膚科      |
| 51 | J Dermatol  | 2008.7  | Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma successfully treated with local thermotherapy using pocket hand warmers  | Honma M            | 皮膚科      |
| 52 | J Dermatol sci                                    | 2008.7  | ATX-S10(Na)-photodynamic therapy inhibits cytokine secretion and proliferation of lymphocytes   | Takahashi H        | 皮膚科      |
| 53 | CORNEA  | 2008.12 | Therapeutic Keratoplasty for Corneal Perforation  | Hanada K,          | 眼科       |
| 54 | JOURNAL OF OCULAR<br>MAGNETIC AND<br>THERAPEUTICS | 2008.10 | Short-Term Effects of Topical Tafluprost on Retinal Blood Flow in Cats  | Izumi N            | 眼科       |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|    | 雑誌名  | 発表年月    | 題名  | 発表者氏名           | 所属部門        |
|----|--|---------|---|-----------------|-------------|
| 55 | INVESTIGATIVE<br>OPHTHALMOLOGY & VISUAL<br>SCIENCE | 2008.10 | Role of nitric oxide in regulation of retinal blood flow in response to hyperoxia in cats   | Izumi N         | 眼科          |
| 56 | BRITISH JOURNAL OF<br>OPHTHALMOLOGY                | 2008.10 | Effect of panretinal photocoagulation on choroidal circulation in the foveal region in patients with severe diabetic retinopathy          | Takahashi A     | 眼科          |
| 57 | INVESTIGATIVE<br>OPHTHALMOLOGY & VISUAL<br>SCIENCE | 2008.5  | C-reactive protein inhibits endothelium-dependent nitric oxide-mediated dilation of retinal arterioles via enhanced superoxide production | Nagaoka T       | 眼科          |
| 58 | 耳鼻咽喉科臨床  | 2008.5  | 中咽頭myxofibrosarcoma例  | 上田征吾            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 59 | 日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌                                    | 2008.5  | 扁桃病巣疾患における扁桃細菌叢の検討  | 上田征吾            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 60 | J Clin Immunol                                     | 2008.7  | Promiscuous peptides on the nontypeable Haemophilus influenzae P6 outer membrane protein.   | Nomura Yuka     | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 61 | 日本耳鼻咽喉科学会会報  | 2008.8  | メトレキサート関連リンパ増殖性疾患の3例  | 石田芳也            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 62 | 耳鼻咽喉科展望  | 2008.8  | Drug Delivery System(DDS)としてのエアロゾルの将来性 鼻粘膜を介した新たな治療戦略の開発と応用 ペプチドワクチンによるアレルギー制御  | 長門利純            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 63 | Ann Otol Rhinol Laryngol                           | 2008.8  | Evaluation of a deep brain stimulation electrode for laryngeal pacing.  | Katada Aikihiro | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 64 | 診療と新薬  | 2008.8  | 突発性難聴に対するLipo-prostaglandin E1の有用性  | 坂東伸幸            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 65 | JOHNS  | 2008.10 | 【口腔・咽頭科診療における論点】 掌蹠膿疱症における扁桃摘出術の適応をどう考えるか？ 耳鼻咽喉科の立場から   | 吉崎智貴            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 66 | 頭頸部癌   | 2008.10 | 下咽頭進行癌に対する放射線併用超選択的動注化学療法の有効性   | 坂東伸幸            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 67 | 耳鼻咽喉科臨床  | 2008.10 | 中耳腔に進展した髄膜腫例  | 高林宏輔            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 68 | 耳鼻咽喉科臨床  | 2008.12 | Basaloid squamous cell carcinomaの2例   | 大高隆輝            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 69 | 日本気管食道科学会会報  | 2008.12 | 喉頭ペーシング   | 國部勇             | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 70 | 日本皮膚科学会雑誌  | 2008.12 | 皮膚科医に必要な他科感染症の知識 扁桃が病巣となる皮膚疾患 臨床と病態   | 原淵保明            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 71 | 耳鼻咽喉科臨床  | 2009.1  | 若年女性に発症した咽後膿瘍の2例  | 東谷敏孝            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 72 | Arthritis Rheum                                    | 2009.2  | Clinical images: Otitis media and nasal granulation in Wegener's granulomatosis.  | 長門利純            | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|    | 雑誌名                      | 発表年月    | 題名  | 発表者氏名      | 所属部門        |
|----|--------------------------|---------|---|------------|-------------|
| 73 | 耳鼻咽喉科臨床                  | 2009.2  | 耳下腺salivary duct carcinomaの3例と本邦における臨床的検討   | 大高隆輝       | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 74 | 耳鼻咽喉科臨床                  | 2009.3  | 口腔咽頭に生じる潰瘍性病変に対する保存的治療とペーチェット病に対する扁桃摘出術の有効性   | 高原幹        | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 75 | 耳鼻咽喉科臨床                  | 2009.3  | 頸部炎症性筋線維芽細胞性腫瘍例   | 上田征吾       | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 76 | ENTONI                   | 2009.3  | 【耳鼻咽喉科ウイルス感染症】EBウイルス感染と頭頸部腫瘍  | 高原幹        | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 77 | 口腔・咽頭科                   | 2009.3  | 扁桃シンポジウム 扁桃病巣皮膚疾患に対する扁桃摘出術の効果と限界 尋常性乾癬、アナフィラクトイド紫斑病、ペーチェット病等の扁桃病巣皮膚疾患における扁桃摘出術の有効性  | 高原幹        | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| 78 | J Assist Reprod Genet    | 2008.5  | Isolation of the human ePAB and ePABP2 cDNAs and analysis of the expression patterns  | 宮本敏伸       | 産科婦人科       |
| 79 | Cancer Res               | 2008.7  | Frequent inactivation of a putative tumor suppressor, angiopoietin-like protein 2 in ovarian cancer.  | 千石一雄       | 産科婦人科       |
| 80 | J Assist Reprod Genet    | 2008.11 | Two single nucleotide polymorphisms in PRDM9 (MEISETZ) gene may be a genetic risk factor for Japanese patients with azoospermia by meiotic arrest | 宮本敏伸       | 産科婦人科       |
| 81 | 日産婦内視鏡学会誌                | 2008.12 | 当院における「組み立て式吊り上げ法」を用いた腹腔鏡下子宮筋腫核出術後の後方視的研究   | 堀川道晴       | 産科婦人科       |
| 82 | 北海道産婦人科学会誌               | 2009.3  | ヒト無精子症とその要因   | 宮本敏伸       | 産科婦人科       |
| 83 | 北海道産婦人科学会誌               | 2009.3  | 高齢者の腹腔鏡手術   | 西脇邦彦       | 産科婦人科       |
| 84 | 小児の脳神経                   | 2008.4  | 皮質形成異常の電気生理学的・病理組織学的検討 —ラット実験モデルおよび臨床例の検討—  | 程塚 明       | 脳神経外科       |
| 85 | 脳神経外科                    | 2008.5  | 限局性皮質形成異常のてんかん原性に関する病態生理学的研究 (総説)   | 程塚 明       | 脳神経外科       |
| 86 | 癌と化学療法                   | 2008.6  | 抗癌剤髄腔内投与  | 程塚 明       | 脳神経外科       |
| 87 | 脳卒中の外科                   | 2008.6  | 内頸動脈閉塞を伴う巨大脳底動脈先端部近傍動脈瘤の外科治療  | 佐藤正夫       | 脳神経外科       |
| 88 | Journal of Brain Science | 2008.10 | Basal ganglia, thalamus, mesencephalic reticular formation and experimental limbic seizures   | Hodozuka A | 脳神経外科       |
| 89 | 日本口腔外科学会雑誌               | 2008.4  | 下顎間接突起部に発症したLangerhans' cell histiocytomaの1例  | 吉田将亜       | 歯科口腔外科      |
| 90 | 日本輸血細胞治療学会誌              | 2009.1  | 旭川医科大学病院における輸血前・輸血後感染症気怨嗟の実施状況  | 紀野修一       | 臨床検査・輸血部    |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|     | 雑誌名   | 発表年月    | 題名  | 発表者氏名 | 所属部門    |
|-----|---|---------|---|-------|---------|
| 91  | Analytical Biochemistry                           | 2009.3  | Single nucleotide polymorphism genotyping by mini-primer allelespecific amplification with universal reporter primers for identification of degraded DNA                          | 松原和夫  | 薬剤部     |
| 92  | Progress in Medicine                              | 2008.7  | 慢性肝炎患者におけるグリチルリチン製剤投与による臨床効果の比較   | 松原和夫  | 薬剤部     |
| 93  | 医療薬学  | 2008.5  | 処方オーダーリングシステムおよびTDMオーダーリングシステムと連動した抗MRSA薬使用届け出システムは適正使用を推進する  | 山田武宏  | 薬剤部     |
| 94  | ANAESTHESIA                                       | 2008.4  | Tips for intubation with the Pentax-AWS (R) Rigid Indirect Laryngoscope in morbidly obese patients  | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 95  | JOURNAL OF ANESTHESIA                             | 2008.5  | Pentax-AWS® (Airway scope) and Airtraq® : Big difference between two similar devices  | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 96  | ANAESTHESIA                                       | 2008.6  | The Pentax-AWS (R) rigid indirect video laryngoscope: clinical assessment of performance in 320 cases   | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 97  | ANESTHESIA AND ANALGESIA                          | 2008.7  | Unexpected internal jugular vein obstruction revealed by ultrasound surface scan before central venous catheter insertion   | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 98  | ACTA ANAESTHESIOLOGICA SCANDINAVICA               | 2008.7  | High dose of dexmedetomidine was useful for general anesthesia and post-operative analgesia in a patient with postpolio syndrome  | 国沢卓之  | 手術部     |
| 99  | JOURNAL OF CARDIOTHORACIC AND VASCULAR ANESTHESIA | 2008.10 | Mild Nonpara-/Non transvalvular leakage of a stented porcine valve implanted in the mitral position decreased after the administration of protamine and disappeared after surgery | 国沢卓之  | 手術部     |
| 100 | JOURNAL OF ANESTHESIA                             | 2009.2  | Pentax-AWS airway Scope as an alternative for awake flexible fiberoptic intubation of a morbidly obese patient in the semi-sitting position                                       | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 101 | 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ                                | 2008.4  | 循環器症候群IV 僧帽弁穿孔.   | 郷一知   | 救急部     |
| 102 | General Thoracic and Cardiovascular               | 2008.6  | Staged repair for a chronic dissecting thoracic aortic aneurysm with no transfusion in a Jehovah's Witness Patient.   | 角浜孝行  | 救急部     |
| 103 | ICUとCCU   | 2008    | エアウェイスコープを用いた安全な気管チューブ交換  | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 104 | 麻酔  | 2008    | 麻酔科研修への搾樽のポイントオブジョブトレーニングの有用性   | 藤田 智  | 救急部     |
| 105 | 救急医学  | 2008.10 | エアウェイスコープを用いて気道確保を行った顔面・頭部外傷の1症例  | 鈴木昭広  | 救急部     |
| 106 | Progress in medicine                              | 2008.7  | 食道癌術後の心房細動に低用量塩酸ランジオロールが有効であった肥大型心筋症の1例   | 岡田基   | 集中治療部   |
| 107 | Circulation                                       | 2008.10 | Prostacyclin Relieves Periphera Ischemia through Enhancement of Critical Functions of Endothelial Progenitor Cells  | 岡田基   | 集中治療部   |
| 108 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科                                       | 2008.4  | 口内法による唾石摘出術   | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

|     | 雑誌名                        | 発表年月    | 題名   | 発表者氏名 | 所属部門    |
|-----|----------------------------|---------|--|-------|---------|
| 109 | 日本手術医学会誌                   | 2008.5  | 手術医療の実践ガイドライン 第11章 手術部建設・設備  | 平田 哲  | 手術部     |
| 110 | ENT/er                     | 2008.5  | 反復性中耳炎   | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |
| 111 | 日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌             | 2008.5  | ペニシリンは耐性菌を増やすのか、減らすのか  | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |
| 112 | Acta Anaesthesiol Scand    | 2008.7  | High dose of dexmedetomidine was useful for general anesthesia and post-operative analgesia in a patient with postpolio syndrome.  | 国沢 卓之 | 手術部     |
| 113 | JOHNS                      | 2008.8  | アデノイド増殖症、慢性扁桃炎 -アデノイド切除術, 口蓋扁桃摘出術-   | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |
| 114 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科                | 2008.10 | 小児急性中耳炎からみた抗菌薬の適正使用と課題   | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |
| 115 | J Cardiothorac Vasc Anesth | 2008.10 | Mild nonpara-/nontransvalvular leakage of a stented porcine valve implanted in the mitral position decreased after the administration of protamine and disappeared after surgery.              | 国沢 卓之 | 手術部     |
| 116 | 小児内科40(増刊)                 | 2008.12 | 副鼻腔炎   | 林 達哉  | 手術部/耳鼻科 |
| 117 | 日本臨床麻酔学会誌                  | 2009.1  | 安全で確実な中心静脈カテーテル留置 コツと落とし穴  | 国沢 卓之 | 手術部     |
| 118 | Clinical Engineering       | 2009.2  | 手術部における医療機器の保守管理 病院経営からみた医療機器保守管理  | 平田 哲  | 手術部     |
| 119 | 日本手術医学会誌                   | 2009.2  | 効率的な鋼製小物, 医療材料の管理運用システム日本手術医学会誌  | 平田 哲  | 手術部     |
| 120 | Int J Oncol                | 2008.5  | Administration of VEGF receptor tyrosine kinase inhibitor increases VEGF production causing angiogenesis in human small-cell lung cancer xenografts.   | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 121 | Int J Antimicrob Ag        | 2008.11 | Recovery of susceptibility to penicillin G in clinical isolates of Streptococcus pneumoniae despite increased accumulation of pbp gene alterations.  | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 122 | Lancet Oncol               | 2008.11 | Vinorelbine plus gemcitabine followed by docetaxel versus carboplatin plus paclitaxel in patients with advanced non-small-cell lung cancer: a randomized, open-label, phase III study.         | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 123 | Respirology                | 2009.3  | Bronchoscopy in Japan: A survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006.  | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 124 | Oncology Reports           | 2009.3  | High incidence of chromosomal abnormalities at 1p36 and 9p21 in early-stage central type squamous cell carcinoma and squamous dysplasia of bronchus detected by autofluorescence bronchoscopy. | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 125 | 化学療法の領域                    | 2008.4  | 抗菌薬選択のポイントII. 起炎菌別に考えること3. 肺炎球菌.   | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 126 | 日医雑誌                       | 2008.6  | 特集 抗菌薬の使用と耐性菌への対応. ペニシリン耐性肺炎球菌.  | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |

小計18件



## 2. 論文発表等の実績

|     | 雑誌名               | 発表年月   | 題名   | 発表者氏名 | 所属部門    |
|-----|-------------------|--------|--|-------|---------|
| 127 | 日本呼吸器学会雑誌         | 2009.2 | 慢性壊死性アスペルギルス症臨床診断例におけるガラクトマンナン抗原および $\beta$ -Dグカン値の検討. | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 128 | 別冊日本臨床新領域別症候群シリーズ | 2009.3 | 萎縮性気管支炎. 呼吸器症候群(第2版)III.                               | 大崎 能伸 | 呼吸器センター |
| 129 | 肺癌                | 2009.3 | 後期高齢者進行非小細胞肺癌に対するパクリタキセルとカルボプラチン併用化学療法の第I相試験.          | 奥村 俊介 | 呼吸器センター |

小計3件

合計129件

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

|         |   |
|---------|---|
| 管理責任者氏名 | 病院長 松野丈夫  |
| 管理担当者氏名 | 総務課長 小山幸弘、会計課長 今田敏文、経営企画課長 高見澤昭彦<br>医療支援課長 井上義彦、薬剤部長 松原和夫 |

|  |  | 保管場所                           | 分類方法  |
|--|--|--------------------------------|---|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 |  | 病院事務部<br>医療支援課<br>経営企画課<br>薬剤部 | コンピューターによる集中管理を行っている。<br>カルテ等病歴資料、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録   | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 総務部総務課                         | /   |
|  | 高度の医療の提供の実績                                | 病院事務部<br>経営企画課                 |   |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 総務部総務課                         |   |
|  | 高度の医療の研修の実績                                | 総務部総務課                         |   |
|  | 閲覧実績                                       | 病院事務部<br>経営企画課                 |   |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 病院事務部<br>経営企画課                 |   |
|  | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿                  | 病院事務部<br>経営企画課                 |   |
| 確規<br>保則<br>の第<br>9<br>条<br>の<br>2<br>3<br>及び<br>第<br>1<br>条<br>の<br>1<br>1<br>各号に掲げる体制    | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 総務部総務課                         | /   |
|  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 総務部総務課                         |   |
|  | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況                        | 総務部総務課                         |   |
|  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 病院事務部<br>医療支援課                 |   |
|  | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 医療安全管理部                        |   |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医療安全管理部                        |   |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医療安全管理部                        |   |
|  | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全管理部                        |   |

|   |                       | 保管場所  | 分類方法    |
|---|-----------------------|---|---------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録  | 規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況                                       | 感染制御部   |
|   |                       | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                    | 感染制御部   |
|   |                       | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                              | 感染制御部   |
|   |                       | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | 感染制御部   |
|   |                       | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | 総務部総務課  |
|   |                       | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | 医療安全管理部 |
|   |                       | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | 薬剤部     |
|   |                       | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部     |
|   |                       | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | 総務部総務課  |
|   |                       | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | 医療安全管理部 |
|   |                       | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                         | 総務部会計課  |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療安全管理部               |   |         |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|             |              |
|-------------|--------------|
| 閲覧責任者氏名     | 病院事務部長 菅原豊彦  |
| 閲覧担当者氏名     | 経営企画課長 高見澤昭彦 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 病院会議室        |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |   |   |   |
|-----------|--------|---|---|---|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0 | 件 |   |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 | 0 | 件 |
|           | 歯科医師   | 延 | 0 | 件 |
|           | 国      | 延 | 0 | 件 |
|           | 地方公共団体 | 延 | 0 | 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

|      |                        |      |                     |
|------|------------------------|------|---------------------|
| 紹介率  | 67.1%                  | 算定期間 | 平20年4月1日～平成21年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              |      | 9,241人              |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |      | 5,257人              |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 |      | 1,203人              |
|      | D: 初診の患者の数             |      | 18,140人             |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

|   |         |
|---|---------|
| ① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況   | 有(1名)・無 |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | 有(1名)・無 |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況   | 有・無     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員： 専任(2)名、 兼任(9)名</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) インシデントレポート等に関する調査・分析</li><li>(2) 医療の質の向上、その他安全対策に関する事項</li><li>(3) 医療事故防止のための改善策の策定・実施及び周知</li><li>(4) 医療調査委員会開催の判断</li><li>(5) 医療の安全性に係る教育及び研修</li><li>(6) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知</li><li>(7) 医療事故防止マニュアルの見直し</li></ul></li></ul>   |         |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  | 有・無     |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | 有・無     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 安全管理の基本理念</li><li>(2) 安全管理組織体制の整備</li><li>(3) 部門の長の管理責任の明確化</li><li>(4) 診療マニュアルの活用</li><li>(5) インシデントと医療事故の用語の定義</li><li>(6) インシデント報告体制</li><li>(7) インシデント報告体制時間内</li><li>(8) 時間外緊急連絡網体制</li><li>(9) 本院における医療安全管理体制</li><li>(10) 医療事故等発生時の対応</li><li>(11) 医療関連死・CPA-OA 症例の剖検に関する指針に関して</li><li>(12) 医療相談窓口の設置</li></ul></li></ul> |         |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況   | 年12回    |

・活動の主な内容：

- (1) 医療事故防止対策の検討及び推進
- (2) 医療事故防止の啓発活動（講演会等の企画立案を含む）
- (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る。
- (4) 各部署における医療安全管理状況の点検及びマニュアルの見直し
- (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知
- (6) インシデントが発生した場合、医療事故か否かを判定し、医療事故と判定した場合は速やかに事故原因を調査究明し、再発防止策を策定する。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年20回

・研修の主な内容：（平成20年度実績）

看護部初任者研修、医療安全ポケットマニュアルの説明、各部門における安全への取り組み、ME機器セミナー（2回）、一次救命救急処置・AED講習会（3回）、特別講演会、第1回事例検討会、医療安全対策実状報告会、並列交換講習会、人工呼吸器準備等に関する学習会、エコーガイド下穿刺手技トレーニング、眼科救急勉強会、部署リスクマネジャーの教育（重大事例発生時の記者会見ロールプレイング法）、各部門での安全の取り組み報告会&ポスターセッション（2日間）、外来救急シュミレーション、第2回事例検討会、輸血実施手順講習会、医師・事務職員中途採用者の教育、看護師中途採用者の教育、e-ラーニングで学ぶ医療安全。

⑧医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備 （有）・無）

・その他の改善のための方策の主な内容

- (1) インシデント事例をリスクマネジャー連絡会議に提起し、分析結果を院内に周知している。
- (2) プレーカがダウンし、人工呼吸器が停止した事例を踏まえて、プレーカ容量を増設するとともに、電流監視装置を取り付けた。
- (3) 時間外緊急連絡網を整備。（病院長・医療安全管理部長・GRMに公用携帯を配備）
- (4) AED設置場所に人工呼吸器用レダールポケットマスクを設置。
- (5) 医療安全管理部ホームページからアクセス可能なe-ラーニングのプログラムを開発。
- (6) 妊婦の転落予防のため、産婦人科診察台を新規購入した。
- (7) 薬事委員会に名称が似ている薬剤のジェネリック薬品などへの採用見直しを提言。
- (8) 人工呼吸器の吸入に係る院内ガイドラインの作成、輸血実施手順マニュアルの作成、内視鏡管理マニュアルの作成、シリンジポンプ・輸液ポンプの運用マニュアルの改訂、新規インスリン・採血用具が採用されたことに伴い、インスリン使用ガイド（第4版）の作成。
- (9) 眼鏡・義歯・アクセサリーの紛失防止のため、プラスチックケースとビニール袋を購入し、希望部署に配布。
- (10) 急性肺血栓塞栓症時の院内緊急対応マニュアルとして、診断対応手順、治療対応手順を作成し、また、複数診療科による肺塞栓対応チームを発足させ病院全体として対応する体制とした。
- (11) 医療事故報道を踏まえて、本院での体外受精に係る事故防止対策について検証した。
- (12) 本院での転倒転落事故を減少させるため、転倒・転落事故防止対策対応プロジェクトチームを結成し、事例分析、要因分析、アセスメントスコア等を再評価するとともに、何らかの対応策を策定するため検証中である。
- (13) 医療安全ポケットマニュアル（第2版）を改訂し、病院全職員に配布した。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|   |      |
|---|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況   | 有・無  |
| <p>・ 指針の主な内容:</p> <p>(1) 基本的な考え方 (2) 取組む組織 (3) 職員研修 (4) 感染症発生状況の報告<br/> (5) 院内感染発生時の対応 (6) 患者に対する当該指針の閲覧<br/> (7) その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>  |      |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 年26回 |
| <p>・ 活動の主な内容:</p> <p>(1) 院内感染対策の検討と推進<br/> (2) 感染防止のための教育と啓発<br/> (3) 感染情報の収集・分析を行い、改善の方策を図る。<br/> (4) 感染対策マニュアルの策定と適宜な見直し<br/> (5) HIV感染対策の強化と充実</p>   |      |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 年 8回 |
| <p>・ 研修の主な内容:</p> <p>(1) 閉鎖式輸液ライン操作演習<br/> (2) 手指衛生及びPPE着脱演習<br/> (3) 採用者に対する感染防止教育<br/> (4) 院内感染防止対策に係る講演会</p>   |      |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況   |      |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>(1) 病室にペーパーホルダーや廃棄容器を設置し、手指衛生を推進するための環境整備を図った。<br/> (2) 擦式手指消毒剤の消費状況を院内に周知し、手指衛生の推進を図った。<br/> (3) 感染リンクナースを中心に各部署教育を実施した。<br/> (4) ICT感染対策ラウンド後、感染対策に係る達成状況および注意点をコメント付きの写真などで現場にフィードバックすることにより、感染対策の推進を図っている。<br/> (5) 看護部感染対策委員会による院内ラウンド、ICTラウンドにおいて「日常清掃点検ラウンド」を実施し、環境衛生の推進を図っている。<br/> (6) 抗 MRSA 薬の監視体制の構築</p> |      |

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |      |
|---|------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況  | 有・無  |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 年 4回 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>(1) 初任者看護技術研修（対象：看護師）、薬の基礎知識について：H20.4.3 78名</li> <li>(2) 初任者看護技術研修（対象：看護師）、静脈注射研修Ⅰ、Ⅱ H20.5.29～5.30 65名</li> <li>(3) 初任者看護技術研修（対象：看護師）、静脈注射研修Ⅲ H21.2.9～2.12 65名</li> <li>(4) 医療安全対策実情報告（対象：医師・看護師）インスリンインシデント対策<br/>H20.9.22 185名</li> </ul> |      |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況  |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 業務の主な内容：</li> <li>(1) 総則 (2) 医薬品の採用 (3) 医薬品の購入・管理 (4) 薬剤部における医薬品の管理</li> <li>(5) 病棟・各部門への医薬品の供給 (6) 外来患者への医薬品使用 (7) 入院患者への医薬品使用</li> <li>(8) 麻薬管理 (9) 院内製剤 (10) 他施設との連携 (11) 医療事故防止および発生時の対応 (12) 教育・研修</li> </ul>                     |      |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>(1) 厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療機器等安全性情報</li> <li>(2) 日本製薬団体連合会：Drug Safety Update</li> <li>(3) 各メーカー・卸からの回収情報等の収集</li> </ul>   |      |



医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |      |
|--|------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況  | 有 無  |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況  | 年 7回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺</p> <p>① 研修名： 人工心肺回路に関する説明会</p> <p>② 対象者： 臨床工学技士</p> <p>③ 研修内容： 回路の長さ等の打ち合わせ</p> <p>④ 開催日： 平成20年 5月23日(金)</p> <p>⑤ 受講者数等： 臨床工学技士 5名</p> <p>(2) 体内式ペースメーカー</p> <p>① 研修名： 体内式ペースメーカー説明会</p> <p>② 対象者： 臨床工学技士</p> <p>③ 研修内容： 取扱説明会</p> <p>④ 開催日： 平成20年 6月7日(土)、8日(日)、8月8日(金)、9月6日(土)、7日(日)</p> <p>⑤ 受講者数等： 臨床工学技士 1名</p> <p>(3) 体外循環器</p> <p>① 研修名： 体外循環セミナー</p> <p>② 対象者： 臨床工学技士</p> <p>③ 研修内容： 人工心肺操作等に関すること</p> <p>④ 開催日： 平成20年 5月24日(土)、25日(日)</p> <p>⑤ 受講者数等： 臨床工学技士 1名</p> <p>(4) 人工呼吸器</p> <p>① 研修名： ニューポート人工呼吸セミナー</p> <p>② 対象者： 臨床工学技士</p> <p>③ 研修内容： 人工呼吸器及び人工呼吸中の加温加湿について</p> <p>④ 開催日： 平成20年10月11日(土)</p> <p>⑤ 受講者数等： 臨床工学技士 2名</p> <p>(5) 高気圧酸素治療室</p> <p>① 研修名： 高気圧酸素治療に関する研修会</p> <p>② 対象者： 病院関係職員</p> <p>③ 研修内容： 高気圧環境の体験</p> <p>④ 開催日： 平成20年 8月26日(火)、9月16日(火)、12月22日(月)、</p> <p>⑤ 受講者数等： 31名</p> <p>(6) シリンジポンプ、輸液ポンプ</p> <p>① 研修名： ME機器セミナー</p> <p>② 対象者： 病院関係職員、大学院生、研究生及び学生</p> <p>③ 研修内容： 安全に使用するための講習会(危険な操作、動作を学ぶ)</p> <p>④ 開催日： 平成20年 6月18日(水)、6月24日(火)</p> <p>⑤ 受講者数等： 165名(18日75名、24日90名)</p> <p>(7) 人工呼吸器</p> <p>① 研修名： シリンジポンプ並列交換講習会</p> <p>② 対象者： 病院関係職員、学生</p> <p>③ 研修内容： シリンジポンプの操作方法及び並列交換の習得</p> <p>④ 開催日： 平成20年10月24日(金)</p> <p>⑤ 受講者数等： 128名</p> |      |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況  |      |

- ・ 計画の策定 (有・無)
- ・ 保守点検の主な内容：

- (1) シリンジポンプ、輸液ポンプ及び経腸栄養ポンプは中央管理による日常点検及び定期点検
- (2) 人工呼吸器の始業点検、使用中点検、終業点検及びメーカーによる定期点検
- (3) 血液浄化装置は始業点検及びメーカーによる定期点検
- (4) 除細動器は点検器具を用いた臨床工学技士による定期点検
- (5) 人工心肺装置及び補助循環装置は始業点検及びメーカーによる定期点検

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 情報の収集
  - ① 医薬品、医療機器に関する情報提供のホームページの活用
  - ② メーカー主催のメンテナンス講習会への参加
  - ③ 医療機器に関連する学会への参加
  - ④ メーカー担当者からの報告、情報の収集
- (2) 情報周知の方法
  - ① 定期的な報告（医療機器安全使用に関する検討会の実施）
  - ② 文書配付による通知
  - ③ メーカー担当者から関連部署への通知の依頼